

第2回外部評価委員会

日時：2006.3.11 13:00～17:00

場所：名古屋大学医学部基礎研究棟

出席：飯沼雅朗、富永祐民、三木健二、村橋泰志、森際康友

浜島信之（主任研究者）、中央事務局（内藤真理子、水谷恵子）

欠席：栗田仁子、齋藤英彦

議事

■主任研究者より中央事務局長の変更説明

次事務局長は未定である。

■各委員自己紹介

■委員長に富永委員の推薦があり、全員一致で、委員長を富永祐民委員に願
いすることとなった。

■研究計画書について検討

- ・「9. 追加研究の実施」、「10. 他研究への調査資料・生体資料の提供」：
包括同意について再度検討し、裁判所でも通用する対応を考えることが
必要。
- ・「12. 情報の管理・入力・更新」：この疫学研究は、長期間にわたるた
め、データおよび検体がきちんと管理されて後継研究者に引き継がれて
いくことを明記すべきである。
- ・「14. 社会的・倫理的事項」：モニタリングに弁護士を参加させること
を検討する。各手順書について改訂版を送付。

■各サイトの調査状況報告

■名古屋大学での検体保管場所を見学・説明

警報およびセキュリティの確認

■広報状況の報告

■その他：

今回は半年後で、事務局での受け入れ体制を中心に説明することとなった。